年間授業計画

荻窪高等学校 令和４～８年度入学生用　　教科 情報　　科目 情報Ⅰ

教　科：情報　　科　目：情報Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　8 組

教科担当者：（１・２組：板垣）（３組：菊池　）（４～６組：安達）（７・８組：菊池）（情報ＩC組：菊池）（情報Ｉｄ組：安達）

使用教科書：（ 東京書籍　新編　情報Ⅰ（情報002-901）　　）

教科 情報 の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】 情報に関するの科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用できる知識および技術を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】 情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決できるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養う。

科目 情報Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	事象を情報とその結びつきの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元：情報社会を見渡してみよう。 【知識及び技能】 情報社会の利便性についての知識・技能を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 情報社会の長所・短所について考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 情報機器や効果的なコミュニケーション手段等の利用における注意点について考えを深めさせる。	・指導事項 SNSの普及と情報モラル 情報社会とは 大切な情報を守るために 情報社会を支える法律 著作権等に関する法律 情報通信技術で変わる社会 ・教材：教科書・ワーク等 ・CALL教室のパソコン	【知識・技能】 SNSの利便性や注意点について具体的に理解している。 【思考・判断・表現】 SNSおよびインターネットの利用における長所・短所について事例を挙げて説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 SNSおよびインターネットの利用について、自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	14
	B 単元：コミュニケーションと情報デザイン 【知識及び技能】 情報デザインの考え方と目的を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 身近にある情報デザインの事例から適切に分類させる。 【学びに向かう力、人間性等】 身近にある情報デザインの事例から主体的かつ摘つに分類させ、考察させる。	・指導事項 デザインの基本を見てみよう 情報デザイン 情報を伝える様々な手段 誰にとっても分かりやすい情報デザインの工夫 情報デザインの流れ ・教材：教科書・ワーク等 ・CALL教室のパソコン	【知識・技能】 情報デザインの考え方と目的を理解している。 【思考・判断・表現】 身近にある情報デザインの事例を抽象化、可視化、構造化に分類することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近にある情報デザインの事例や活用法を主体的に考察しようとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
2学期	C単元：情報のデジタル化・コンピュータの仕組み 【知識及び技能】 アナログとデジタルの特徴を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 基数変換が表現でき、作業効率がある方法を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 デジタル化について関心を持たせ、プログラム処理を表現させる。	・指導事項 デジタルデータと２進法 コンピュータの基本的な構成 CPUとメインメモリ ・教材：教科書・ワーク等 ・CALL教室のパソコン	【知識・技能】 アナログとデジタルの特徴を理解している。２進法による表現と情報量の単位について理解している。 【思考・判断・表現】 数を２進法・１０進法・１６進法で表現することができる。作業効率が上がる方法について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 デジタル化や２進法に関心を持とうとしている。 プログラム処理を自分の言葉で説明しようとしている。	○	○	○	16
	D単元：データの活用 【知識及び技能】 データの性質とその特徴を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 データの性質を正しく理解させ、分析・考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 データの加工の必要性を理解し、分析・考察させる。	・指導事項 デザインの基本を見てみよう 情報デザイン 情報を伝える様々な手段 誰にとっても分かりやすい情報デザインの工夫 情報デザインの流れ ・教材：教科書・ワーク等 ・CALL教室のパソコン	【知識・技能】 データの性質とその特徴について理解している。 数値データの集計やテキストデータマイニングについて理解している。 【思考・判断・表現】 データの性質の違いを把握し、データの分析を行うことができるデータになっているかを考察している。 集計した数値データやテキストデータを分析・考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 データの収集後に加工をしないとどのような問題が推察しようとしている。 データの分析を通して自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
3学期	E単元：情報通信ネットワークの仕組み 【知識及び技能】 情報通信ネットワークの基本的な構成を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 情報通信ネットワークの基本的な構成を説明させる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分で身の回りにあるネットワーク用の機器について関心をもち、適切に活用できるようにさせる。	・指導事項 情報通信ネットワーク データ伝送の仕組み（IPアドレスとプロトコル、WWW ｔ電子メール） 情報セキュリティの重要性（個人認証、暗号化） ・教材：教科書・ワーク等 ・CALL教室のパソコン	【知識・技能】 情報通信ネットワークの基本的な構成を理解している。 【思考・判断・表現】 情報通信ネットワークの基本的な構成を説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分で身の回りにあるネットワーク用の機器について関心をもとうとしている。	○	○	○	6
	F単元：アルゴリズムとプログラム 【知識及び技能】 コンピュータは決められたアルゴリズム通りの命令を実行していることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 効率よく結果を出すための条件や目的に合った簡潔で分かりやすいアルゴリズムを考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の身近な事象について、作業の手順を箇条書きに表し、プログラムを作成させる。	・指導事項 物事の手順とアルゴリズム アルゴリズムの図式化 プログラムとプログラミング言語 プログラムの構造 プログラムを改善するときの考え方 プログラミングスタイルの変化 ・教材：教科書・ワーク等 ・CALL教室のパソコン	【知識・技能】 コンピュータは決められたアルゴリズム通りの命令を実行していることを理解している。 【思考・判断・表現】 効率よく結果を出すための条件や目的に合った簡潔で分かりやすいアルゴリズムを考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の身近な事象について、作業の手順を箇条書きに表し、プログラムを作成しようとしている。	○	○	○	6 合計 78

年間授業計画

荻窪高等学校 令和４～８年度入学生用　　教科 情報　　科目 文書作成と表計算

教　科：情報　　科　目：文書作成と表計算　　単位数：2　単位

対象学年組：第　4 学年　1 組～　8 組

教科担当者：（1～4・6　組：板垣）　（5組：安達）　（7～8組：鈴木）

使用教科書：（ 文書デザイン検定試験　模擬問題集２級編・情報処理技能検定試験　表計算　模擬問題集２・準２級）

教科 情報 の目標：

【知識及び技能】 文書作成ソフトウェアと表計算ソフトウェアの特性とその操作方法を習得するとともに、指定された書式や表現したい文書、表、グラフの作成ができる。

【思考力、判断力、表現力等】 指定された書式や様々なデータを扱い、適切にとらえ、判断して表現しようとしている。

【学びに向かう力、人間性等】 授業ごとの目標を達成しようとしている。また習得したことを活用しようとしている。

科目 文書作成と表計算 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
文書作成ソフトウェアや表計算ソフトウェアの特性とその操作方法を理解し、指定された書式や誰が見ても読みやすい理解しやすいレイアウトで書面、表、グラフを作成することができる。また、スマートフォンやウェアラブルデバイスが主流になりつつある高度情報化社会の中でも、コンピュータ活用能力を定着させるとともに、情報を適切かつ効果的に表現できる力を身につけさせる。	情報の発信者として、必要な情報の選択、判断の基準となる情報リテラシーを活用し、指定された書式等で様々な情報を自ら整理して、表現しようとする力を身につけさせる。	様々な情報を整理し、主体的に表現しようとしたり、他の生徒の作品にも興味、関心をもち、多面的、多角的に考察しようとする力を身につけさせる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当
1学期	A 単元　タイピング 【知識及び技能】 キーボードの配置やローマ字かな対応を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 指定されたタイピング練習サービスを最大限に活用としている。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的にタイピング練習に取り組もうとしている。	・指導事項　タイピング ・教材　教科書・CALLシステム ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 提出物 【思考・判断・表現】 授業内の態度 【主体的に学習に取り組む態度】 授業内の態度、出席状況	○	○	○	4
	B 単元　文書作成ソフトウェアの活用 【知識及び技能】 ソフトウェアの特性を理解し、様々な書式の文書を作成することができる 【思考力、判断力、表現力等】 指定された書式や自身で考えた構成の文書を作成しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 文書表現に興味、関心をもち、文字の入力、図や表の挿入などの機能を活用しようとしている。	・指導事項　文書作成ソフトウェアの活用 ・教材　教科書・CALLシステム ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 授業内テスト 【思考・判断・表現】 提出物、態度、発言 【主体的に学習に取り組む態度】 態度、発言、提出物、出席状況	○	○	○	26
	授業内テスト			○	○	○	1
2学期	C 単元　表計算ソフトウェアの活用 【知識及び技能】 表計算ソフトウェアの特性を理解し、様々な機能、基礎的な関数を活用した表を作成することができ、完成した表をもとにグラフも作成することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 作成者のみならず、誰にとっても見やすい表を作成しようとし、グラフも色彩的なバランスと整えようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に表計算ソフトウェアにふれあおうとし、疑義を感じることにも積極的に解決しようとしている。	・指導事項　表計算ソフトウェアの活用 ・教材　教科書・CALLシステム ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 授業内テスト 【思考・判断・表現】 提出物、態度、発言 【主体的に学習に取り組む態度】 態度、発言、提出物、出席状況	○	○	○	30
	授業内テスト			○	○	○	1
3学期	D 単元　総合演習 【知識及び技能】 １・２学期に身につけた内容を踏まえ、授業中に与える課題をこなし、文書作成ソフトウェアや表計算ソフトウェアの応用的な活用法を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 生徒の感性、課題に対しての適切なフォント、フォントサイズ、色合いなどのバランスを整えようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的にタイピング練習に取り組もうとしている。	・指導事項　文書作成ソフトウェアと表計算ソフトウェアの応用 ・教材　教科書・CALLシステム ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 提出物 【思考・判断・表現】 態度、提出物 【主体的に学習に取り組む態度】 態度、出席状況、	○	○	○	16
							合計 78